

平成29年度 事業報告書

- 1 会議
 - 総会（5月21日） 理事会（5月7日）
 - 役員会（9回）
- 2 年間事業
 - (1) 第24回菅生学区体育祭（11月5日）
 - (2) 学区民の心のふれあいと連帯感の深化 第18回コミュニティまつり（11月26日）
 - (3) 学区内の各種団体の活動紹介と健康チェック 学区小地域ケア会議（12回）
 - (4) 地域に即した高齢者等の支援体制の調整と推進
 - (5) 「菅生社協だより」の発行（12月25日第7号）
 - (6) 市社会福祉協議会への協力（随時）
 - (7) 高齢者等への友愛訪問（随時）
 - (8) 65歳以上の独居高齢者等への声掛け、見守り 福祉協力委員制度の活動促進と連携
 - (9) 独居高齢者への弁当配布と食事会（10月25日）
 - (10) 75歳以上の独居高齢者への弁当配布と食事会
- 3 菅生地区社会福祉協議会メニュー事業
 - (1) 歳末たすけあい活動（12月23日）
 - (2) 食事会とお飾り作り
 - (3) 75歳以上の独居高齢者への弁当配布と食事会（1月31日）
 - (4) 福祉講演会「地域の防災力を高めよう」
 - (5) 住民同士の交流活動
 - (6) 三世代いきいきウォーキング（9月24日）
 - (7) 三世代ベタンク大会（11月19日）
 - (8) 菅生学区体育祭（11月5日）
 - (9) グラウンド・ゴルフ交歓大会（10月27日）
 - (10) 要支援者に対する見守り・支え合い活動（9月上中旬）
 - (11) 80歳以上の高齢者への声掛け、見守り等の訪問活動
- 4 その他

菅生社協だより

2018年12月25日発行

第8号

発行所 藤本幸子 地区社協だより編集部

〔発行〕菅生地区社会福祉協議会

心のふれあいと連帯感を深めながら、支え合う社会を目指して



「コミュニティ農園 ぶれあいファーム」水車の里

昨年、ケア会議の中で「サロン」という議題が上がりました。

早速取り組んだところ、地域の方のご厚意により、農地を無償にて提供して頂き、昨年5月よりぶれあいファーム「水車の里」と名付けました。10区画をつくり事務局、実行委員会と9人の入植者で、野菜や花を育てています。お互いに情報を共有したり、苗作りをしている人からお互いに貰ったり、譲ったりしています。

毎月第3土曜日に共有地の草刈をしたり、コミュニティセッションを取っています。

9月には猛暑のなかテントを張って、カレーとバーベキューをして、採れたての野菜や差し入れの肉で堪能しました。通りがかりの幼稚園帰りの子どもにも声をかけ食べて貰いました。

10月には「倉敷市民会館祭り」があり、館長さんから野菜コーナーを設けたらとの声をかけて頂きました。早速準備に取りかかりました。品薄で近所の方から野菜や合わせた西条柿やゴーヤの佃煮などを提供して頂きました。

安全で新鮮しかも量が多いので飛ぶように売れました。収入は全て運営費、肥料代等に当てます。

堆肥作りは冬場に落ち葉を集めたり、野菜くずや雑草を刻んで入れ、それに鶏糞、油粕、米ぬか等も混ぜ合わせ、リサイクルしています。堆肥の効果は確実に出ており、野菜の生長がよいように思われます。

課題としては、昨年の9月、今年の7月の大雨で冠水したので、手動ポンプを設置したり溝切りをしたりしていますが、元々田地なので水はけをよくする工夫が必要なので、地域の人から指導を受けることにしています。

一年の事業を振り返って



会長 藤本 幸子

平成30年度も残り少なくなり菅生地区社会福祉協議会の行事も大体3/4が終わり、75歳以上の独居高齢者へお弁当配布、日々の高齢者への声掛け見守り、困りごとの相談を主に活動することとなりました。

今年はとても大きな災害があり、真備、岡山、総社が被害を受けました。不幸にして亡くなられた方、けが、精神的心痛を受け、今なお病院に通っている方も居られます。お見舞い申し上げます。地区社協も少しでもお手伝いが出来ればと、多数の人がボランティアで行きました。1日も早く復興できればと思っております。

11月25日コミュニティまつりが開催されました。大勢の方が（437名）大人も子どもも来て頂き、脳年齢、血圧、ピドスコop（足の裏測定）、骨密度などには行列が出来ていました。当然ながら「自身の健康に気を付けて毎日を生活して居られるのだナ。」と感心しました。

共有地で出来た旬の野菜は、ボランティアの「子ども食堂」さんや施設にささやかですが、気持ちをお届けさせて貰っています。最後になりますが、地域の人に支えられながら、「水車の里」がますます充実していくことを願って、これからも頑張ります。

菅生学区小地域ケア会議 委員長 小山 紀美子

今年、このほか大変な年でした。7月には、災害の少ない岡山県でかつて経験したことのないような水害に遭いました。

真備町では街の3割が水没する被害に遭いました。菅生地区でも床下浸水にあった家屋もあったと聞いています。被害にあったご家庭では後片付けに大変だったことでしょう。

又、8月には35℃以上の猛暑日が連日続き、過ごしやすい秋が来るのだろうかと思配したほどでした。秋も無事来て稲の取り入れも終わり、いよいよ寒い寒い冬將軍を迎えることになりました。

今年、行事があることに「平成最後の……だ」と云っているけれど、年が明けると本格的に元号の話で持ちきりになるでしょう。

新しい元号が、日本にとっても私達の地域にとっても、すばらしい幸せをもたらしてくれることを願ってやみません。

栄養改善協議会の糖尿病予防防食、交通安全母の会、民生・児童委員協議会等たくさんの方の団体のコーナーがありました。又、保育園児、幼稚園児、小学生に絵を書いて頂き参加してもらいました。

そして今年も「元気」をテーマに川柳を募集しました。今年、小学生にも参加して頂き、元気の出る川柳をたくさん応募してもらいました。

たくさん集まった中から優秀な作品を、一般7句と小学生7句を選び壇上に掲示し、来場者の投票により最優秀作品等を選び賞状が渡されました。少し緊張気味ななかにも嬉しそうなお顔で受けていました。

そして何よりもうどんが美味しかった。「来年も来るね」と声をかけて帰る人も居ました。

来年は、平成ではなく元号が変わりますが、地区社協は変わりなく地域の声に耳を傾け、大切に活動して行きたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

編集後記

今年、このほか大変な年でした。7月には、災害の少ない岡山県でかつて経験したことのないような水害に遭いました。

真備町では街の3割が水没する被害に遭いました。菅生地区でも床下浸水にあった家屋もあったと聞いています。被害にあったご家庭では後片付けに大変だったことでしょう。

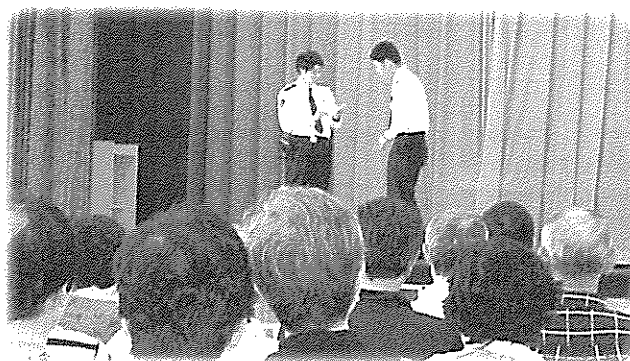
又、8月には35℃以上の猛暑日が連日続き、過ごしやすい秋が来るのだろうかと思配したほどでした。秋も無事来て稲の取り入れも終わり、いよいよ寒い寒い冬將軍を迎えることになりました。

今年、行事があることに「平成最後の……だ」と云っているけれど、年が明けると本格的に元号の話で持ちきりになるでしょう。

新しい元号が、日本にとっても私達の地域にとっても、すばらしい幸せをもたらしてくれることを願ってやみません。

「特殊詐欺を撲滅しよう!!」

平成30年度 福祉講演会



福祉講演会は、平成23年の菅生地区社会福祉協議会設立以来、健康の面など色々なことを取り上げて毎年実施してきました。今年で第7回目となりました。

今年も、今社会で問題となっている特殊詐欺について、倉敷警察所管内大高と中庄交番の若手警察官漫才コンビによる「特殊詐欺撲滅を目指して」と題して講演がありました。

講演の冒頭、倉敷警察所管内で今年10月末までに6,000万円の被害が発生していると云われ、身近にそのようなことがあるのかとびっくりしました。

オレオレ詐欺では、孫とおばあちゃんが電話で話を交わし、おもしろく詐欺の場面を再現し

て注意を促した。お金の話が出たら詐欺と疑い、いったん電話を切って改めて孫等に確認することで詐欺を防げると締め括った。

又、はがきやメールによる架空請求詐欺の話に入り、ある日、はがきが来て、手続きをしないと裁判になるとあり、びっくりした。このようなことになる覚えはないが、インターネットをしていたときに変なメールが来てそれをクリックしたことがあった。あれかなと。

話にあったはがきは、私の身近な人にも受け取っている人がいた。気を付けよう!!

オレオレ詐欺や架空請求等の特殊詐欺にかからないためには3つのポイントがある。

- 1つ目は、お金の話が出たら詐欺を疑え。
 - 2つ目は、相談すること。詐欺かなと思ったら一人で悩まず、家族、知人、警察、消費生活センターなどに相談すること。
 - 3つ目は、相手のところには連絡しない。
- この3つのポイントを守って詐欺にはかからないようにしてください。と力強く話してくださいました。

菅生地区社会福祉協議会
庶務 貝原 速雄

吹奏楽を楽しもう!!

この春、倉敷市立北中学校に入学した娘は、吹奏楽部に入り、毎日楽しそうに練習に励んでいます。初めて手にした楽器に四苦八苦の様子です。

先日、菅生小学校で行われた福祉講演会での演奏は、1年生にとって初めてのコンサートでした。緊張した表情の生徒たちが多く見えていましたが、童謡、演歌、ポップスなど多彩な曲を堂々と演奏していて、その成長ぶりに驚きました。

演奏後には、ご近所さんやたくさんの方に「良かったよ」「頑張っているね」などと声をかけていただいたと、嬉しそうに話してくれました。

子どもの成長を見られたことはもちろん、子どもたちと地域の方々とのつながりを改めて実感できた素敵な会でした。

吉田 晶子



第4回 菅生学区川柳大賞について

毎年恒例となりました川柳大会も今年で4回目を迎えました。今年のテーマは「元氣」です。今回は幅広い世代に興味を持ってもらうため、子ども部を新設し、子ども部には菅生小学校の5・6年生に参加していただきました。子どもから高齢者の方まで様々な人の元氣の秘訣を川柳にしてください、子ども部は154句の作品、一般部では59名の方から108句の作品を応募していただきました。

今回もたくさんの方の作品を応募していただいたため、小地域ケア協議会による厳正な選考をおこない、子ども部と一般部でそれぞれ最終選考7作品、合計14作品を選定しました。その最終選考作品から最優秀賞を決めるために、11月25日(日)に菅生小学校 体育館で開催された菅生コミュニティまつりにおいて、ご来場いただいた方に気に入った作品に投票していただきました。加えて、子ども部では14作品を佳作として選定し、会場に掲示しました。今年もたくさんの方に投票していただき、会場はとても盛り上がりました。投票締め切り後、投票結果の発表と表彰式を執り行い、小地域ケア

【一般の部】

最優秀賞 (1位)

坂の町で 暮らすごほうび

健康 (げんき) です

優秀賞 (2位)

いつ終わる 井戸端会議

三時間

審査委員特別賞 (3位)

見守りで 笑顔の子供

元氣見る

仙賀咲和江

山本 和子

窪田 慎一

人生は 還暦過ぎても 上り坂
のほほんと 終活忘れ ボランテニア
古希なれど 心に熱き 思いあり
桃ぶどう おいしさあふれ 笑顔わく

【子供の部】

最優秀賞 (1位)

したいこと 全部やるぞ

夏休み

優秀賞 (2位)

がんばって はやねはやおき

あさごはん

審査委員特別賞 (3位)

学校は 笑顔の花で いっぱいだ

泉本 結衣

貝原 ルカ

家守 真衣

結衣

あいさつは 元氣をもらう ことばだよ
きゅうしよくで カレーがでたら 元氣で
ジャック君 菅生を元氣に してくれ
夏野菜 栄養もらい 元氣だよ

『何しよん』

隣の1年生の女の子が、「何しよん。」「どうしてするん。」などと矢継ぎ早に聞いてくる。畑仕事の最中である。しばし手を休め草刈りのことを説明した。たまの休みであるが愛想がいい。これは10年前のことである。今日も「こんにちは。何しよん。」と声をかけてくれた。少し恥ずかしそうに。その子は、はや高校2年生である野球部のマネジャーをしているようだ。こんな一言で大勢の友達が出来、楽しい学校生活を送っているようだ。

特別養護老人ホーム浅原桃花園
施設長 難波健男

会議の小山紀美子委員長より賞状と記念品が贈呈されました。表彰された子ども達は緊張していた面持ちでしたが、とても喜んでくれました。

菅生小学校・菅生幼稚園・わかば保育園の子ども達からは思い思いの表現で模造紙に元氣をテーマに作品を作っていたいただきました。この作品もまったり当日に体育館で展示することでたくさんの方に見ていただくことができました。それぞれが工夫を凝らした作品だったので、皆さんの目に留まり熱心に鑑賞してくださいました。

「協力いただいた皆様、ありがとうございました。」
倉敷北高齢者支援センター 篠山 寛史

今年もお米ができました

11月13日に脱穀をしました。前日に少し雨が降ったので心配していたけれども、何とか予定通りに実施できました。地域の方10名と保護者の方、子ども達と頑張りました。小学校等から借りた2台の足踏脱穀機でみんな頑張り予定通りに脱穀を終えることが出来ました。

「園長さん、今年はどうでございまして。いつものような作業をしたか記録しておいてほしい。」と言われました。幼稚園がお借りしている田の面積は276㎡ほどで、168kgの収穫があったのだから、すごいことだと思います。

ただ、私は江國さんから言われた時期に、言われたように鶏糞や糠を撒いたり、土用干しをしたりしただけなので、何がよかったかと言われても何もわかりません。

田植えと稲刈りをするなど、米作りの一部を行っている幼稚園は結構な数があると思います。しかし、稲播き、代かき、田植え、かかし作り、稲刈り、脱穀と連続して米作りにかかわっている幼稚園は稀だと思います。

幼稚園は、よりよい環境の中で、遊びや体験活動を通して、学びの基礎を作ることをねらいとしています。米という作物を地域の方や、お父さんお母さんと友達と一緒に栽培するという体験活動は、自然との関わり、人との関わりという意味でもとても高度な体験活動だと思います。

地域の方の協力を得て、保護者の方とともに米作りの体験活動を長年にわたって維持してきた菅生幼稚園の先輩方に感謝し、これからもこの体験活動を維持していきたいと思いました。

菅生幼稚園 園長 横山 文朗

平成30年度 事業計画書

- 1 総会 理事会 役員会
- 2 年間事業
 - (1) 第25回菅生学区体育祭 11月4日
 - (2) 学区民の心のふれあいと連帯感の深化 第19回コミュニティまつり 11月25日
 - (3) 学区内の各種団体の活動紹介と健康チェック 学区小地域ケア会議
 - (4) 地域に即した高齢者等の支援体制の調整と推進
 - (5) 「菅生社協だより」の発行(第8号)
 - (6) 市社会福祉協議会への協力
 - (7) 高齢者友愛訪問
 - (8) 65歳以上の独居高齢者等への声掛け、見守り 福祉協力委員の活動促進と連携
 - (9) 独居高齢者への弁当配布と食事会 10月24日
 - (10) 75歳以上の独居高齢者への弁当配布と食事会
 - (11) 社会福祉施設の訪問と交流
 - (12) 特別養護老人ホーム浅原桃花園
 - (13) 菅生地区社会福祉協議会メニュー事業
 - (14) 歳末たすけあい活動
 - (15) 食事会とお飾り作り 12月23日
 - (16) 75歳以上の独居高齢者への弁当配布と食事会 1月30日
 - (17) 福祉講演会、ボランティア講座等の開催
 - (18) 福祉講演会の開催 10月6日
 - (19) 3住民同士の交流活動
 - (20) 3世代いきいきウォーキング、三世代ベタンク大会 11月18日
 - (21) 住民同士の交流活動
 - (22) 住民同士の交流活動 10月26日
 - (23) グラウンドゴルフ交歓大会 11月4日
 - (24) 菅生学区体育祭 11月4日
 - (25) 要支援者に対する見守り・支え合い活動 80歳以上の高齢者への声掛け、見守り等の訪問活動
 - その他

人権擁護委員の活動について

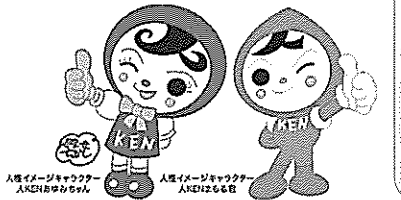
私たち人権擁護委員は、倉敷市、総社市、早島町のなかから48名で倉敷人権擁護委員協議会として活動しています。

さて、先だって西日本豪雨災害がありました。忘れることは出来ません。私たちの委員のなかでも11名が豪雨災害で被災されました。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

被災者などのような支援が出来るか、被災者からの相談対応はどうするか？などと私たち人権擁護委員は、今後とも相互に協力し合い信頼を深めながら、人権の擁護のために力を尽くしてゆきたいと思っています。

その1つとして、避難所や幼稚園に向いて(紙芝居、手品、工作、エプロンシアター、肩たたき棒づくり)皆さんと交流する活動。小学生には「人権の花」栽培し、その花の種を次の小学校に…とつなげていくという活動。中学生の活動としては、人権作文を広く募集し、優秀作品は法務省で選出していく。また、スマホ・デパートDV出前講座を開いたり、高齢者施設訪問、最後に新1年生およびその保護者を対象に、人権まもるくん・あゆみちゃんのパペットで、いじめはいけない・命は大切だよ、皆元気で楽しい学校生活を…と呼びかけています。

私たち倉敷人権擁護委員の合い言葉は「う(うるおい)ま(まことま)い(いきおい)よ(よろこび)」
人権擁護委員 光畑久美子



在宅独居高齢者への弁当お届けと食事会

菅生地区社会福祉協議会(地区社協)では菅生学区コミュニティ協議会・女性部すこし桃花会・菅生地区民生児童委員協議会・愛育委員会・福祉協力委員の皆様のご協力を頂き、学区内75歳以上の在宅独居高齢者の方々に、年2回弁当のお届けと、地区公民館での食事会を実施しています。平成30年度第1回は10月31日(水)に弁当をお届けしました。そして今回の食事会は、西岡・下西坂の方は西岡公民館で、上西坂の方はつどいの館で独居高齢者をお迎えして、地区社協の役員・民生委員・愛育委員・高齢者支援センター・各地区の町内会長の方々が出席し、一緒に食事をしながらお話が出来ました。また、地域の皆さんのご協力によりフルートとキーボードのミニコンサートやヤングマンの曲に合わせて軽い体操・ハンドベル・ピンゴゲーム・脳トレなどで楽しんで頂きました。

お弁当づくり・食事会の経過をたどると、お弁当づくりは、約25年前に愛育委員会の依頼で栄養改善協議会の中の栄養委員の方々が作り、愛育委員と栄養委員で16食、20食お届けしていました。次第に高齢化が進み独居高齢者の人数も増え、現在では150食作っています。それと共にお弁当作りを担う側もコミュニティ女性部、すこし桃花会(主として女性部役員の方々から募り、人数が足りない時は一般の方々から自ら申し出て応援して頂いています)の人たちで作っています。食事会は地区社協が出来てから取り組んでいます。地区の皆様と各公民館と一緒に食事をすることで横の繋がりをさらに深められると思います。

弁当のお届けや食事会は、地区社協から該当者の方々に手紙やはがきで案内しています。
すこし桃花会 村上 恵子

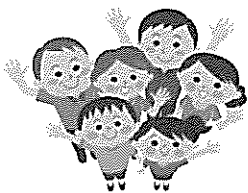
平成30年度 収支予算書

(支出)		(収入)	
科目	予算額	科目	予算額
事務費	235,000	助成金	471,000
印刷費	155,000	一律助成金	80,000
通信費	20,000	運営費助成金	153,000
消耗品費	40,000	福祉活動助成金	88,000
会議費	20,000	メニュー事業	150,000
事業費	320,000	活動費	50,000
歳末たすけあい活動	55,000	事業収入	0
福祉講演会の開催	60,000	雑収入	100
住民同士の交流活動	35,000	繰越金	48,388
住民同士の交流活動	100,000	計	569,488
要支援者訪問活動	70,000		
予備費	14,488		
計	569,488		

菅生地区社会福祉協議会役員名簿

- 会長 藤本 幸子 愛育委員会会長
- 副会長 江國 耕輔 コミュニティ協議会会長
- 庶務 小山紀美子 前民生・児童委員協議会会長
- 水内 宣夫 菅生地区保護司
- 貝原 速雄 民生・児童委員協議会会長
- 村上 恵子 コミュニティ女性部(桃花会)
- 光畑久美子 青少年を育てる会菅生支部長
- 赤場 重美 元下西坂公民館会長
- 山縣 暁 青江宮前町内会長
- 西村 良一 西岡公民館長
- 木曾 福一 老人会連合会会長
- 西田由美子 交通安全母の会会長
- 津島 敏雄 交通安全対策協議会会長
- 大村 庸子 民生・児童委員協議会副会長
- 間野 文章 北中学校PTA副会長
- 守屋 章永 菅生小学校PTA会長
- 金崎 円花 菅生幼稚園PTA会長
- 森岡 輝行 浅原六組合町内会長
- 石原 仗一 下西坂公民館会長

(平成30年5月22日現在)



平成30年 最後の年 こんな一年でした

→優秀賞の授与14作品と絵



「元気」についての川柳



4年 5年 6年

・コミュニティまつり・

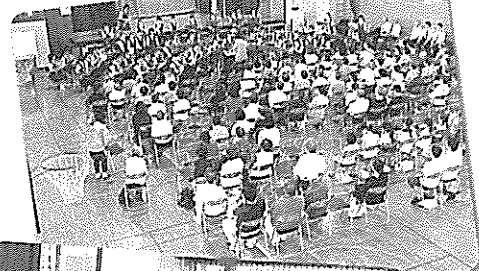
フルート演奏
「もみじ」「故郷」
心が洗われました



大人になっても
タバコは絶対に
ダメよ



・福祉講演会・



中1になつて初めてのコンサートの曲目は、USA・ルパン三世、川の流

輪投げ・バリン
アー
ボクもわたくしも
上手に作るぞ



血圧・血流
私は大丈夫かな？



・注連縄とカレーの会・



・グラウンド・ゴルフ大会



私はホールインをねらうよ

がんばって1位をとるぞ～



ちびっ子集まれ

ボクの球はどのくらい
ビュッと近いかな？

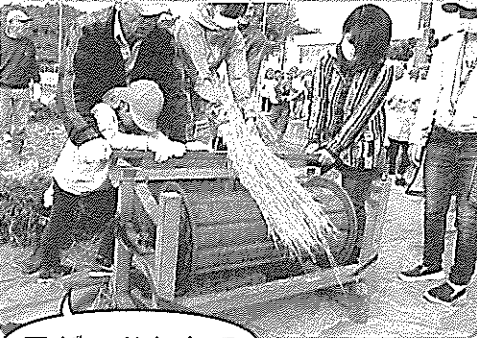


・ペタンク大会・

やったあー
ボクの球が近かった



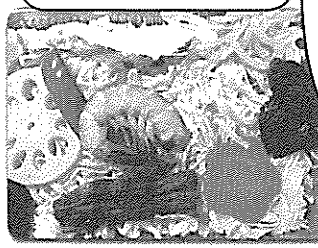
幼稚園で脱穀したよ！



足がつかれたヨ

・食事会・

おいしい
お弁当、早く
食べたいなあ……



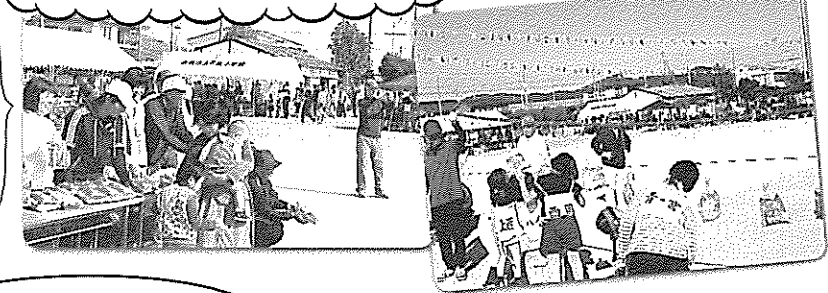
↑お弁当のお寿司

・学区 体育祭・



スフィンレース
頑張るぞ！

龍昌の園児達の演奏です
とてもじょうずにできました



↑菓子取りゲーム